



「土壌生態学」でヒトと土壌を健康に

1. 私たちの食料の95%は、土壌で作られています。
2. しかし、農地土壌の3分の1は「劣化」していて、健康な食のためには、現在の農法を見直す必要があります。
3. たとえば、森林のように耕さない土も、高い生産力を示します。
4. そこで、自然の仕組みを生かして、持続可能な土壌管理を提案します。

基礎研究

土壌の質の評価

土壌の**生物多様性**は、土壌の機能を高め、質の良い農産物生産につながります。



生物多様性

土壌の健康の維持

不耕起・草生栽培は世界の常識である「保全農業」のさらに先を行く、機能が高く、コスト削減が可能な農法です。



微生物からミミズまで！



耕さない、草を抜かない！

森林除染

応用研究

土壌再生

真菌類（カビ）を利用して放射性セシウムを土壌から移動させることができます。



木質チップによる除染
(植物の100倍の能力)

除染農地の生産力を低コストで向上させることができます。



耕起栽培



不耕起草生栽培
(耕起と収量は同じ)

持続可能な農林業生産